

第1回パーククラブワークショップ結果・まとめ

協議

	パーククラブの意見		
	環境の魅力	課題	保全・利用・整備の要望
水生ホタルが生息する 天神川周辺	<p><b>【ホタルの美しさ】</b> ・水生ホタル(ゲンジボタル?)が生息している。 ・蛍の里はホタル、川、竹林等があり景観が美しい。</p> <p><b>【天神川の美しさ】</b> ・天神川の清流(自然の小川)が見える。 ・天神川の魅力として川の流れやせせらぎ・巨大な岩等。</p>	<p><b>【ホタルの生息環境の保全】</b> ・ホタルの生息域である水域全体の保全が必要。 ・ホタルや生息環境をどのように保全・活用できるのか、整備するのかが検討が必要。 ・ホタル等の生息に影響があるのであれば整備しない方がよい。</p> <p><b>【ホタルの鑑賞ルート・施設】</b> ・一般利用を前提にするのか、又鑑賞ルートやスポットをどこまで設けるのかが難しい。 ・現在、竹や雑草が密生している適所に鑑賞ルートやスポットを設けたい。</p> <p><b>【アクセスと運用の方向性】</b> ・道路からのアクセスの可能性はないか。 ・現在天神川付近へは一般来訪者は立ち入れないが、今後の出入り口やルート設置等、ホタル観賞利用等への整備・運用についての検討が必要。</p> <p><b>【川の一般開放の難しさ】</b> ・天神川両岸は急傾斜であるため、鑑賞等ルート設定は困難である。</p> <p><b>【管理主体の違いによる課題】</b> ・天神川を利用や整備する場合は、市や水利組合と協議・調整の必要がある。</p>	<p><b>【ホタルの保全と育成を目標とした整備】</b> ・ホタルを増やしたい。 ・何らかの整備を行う際は、ホタルの保全を前提とする。</p> <p><b>【期間限定利用】</b> ・一般利用者には、シーズンのみの限定利用とするのが良い。</p> <p><b>【天神川付近へのアクセス】</b> ・現在通行禁止となっている地点からのアクセスを確保したい。</p>
陸生ホタル(ヒメボタル?)が生息する竹林周辺(棚田跡)	<p><b>【陸生ホタルの生息環境】</b> ・ヒメボタルが生息しており、鑑賞できる。</p> <p><b>【棚田の日当たり】</b> ・棚田のほとんどが竹林に覆われ日当たりが悪い。</p> <p><b>【棚田の使いやすさ】</b> ・棚田跡であるため、段状地形で利用しやすい。</p> <p><b>【付近の水路】</b> ・近くの水路から、水を引き込み、水遊び場として利用可能。</p>	<p><b>【棚田再生の難しさ】</b> ・竹林(棚田跡)はかつては美しい景観だったが、景観再生には、大面積に渡る伐採等相当な作業が必要。 ・棚田について、整備を進めて管理に手がまわるか、管理が可能な整備の規模を検討すべき。又、棚田として活用・維持できるのかが課題が多い。</p>	<p><b>【棚田の保全】</b> ・竹林は、ヒメボタルの生息環境でもあるため、基本的に保全が望ましい。</p>
ササユリが生息する 草地斜面	<p><b>【斜面の魅力資源】</b> ・美しいササユリの自生する草地。 ・魅力資源として、ササユリ、ヒヨドリバナ、ハギの群生がある。</p> <p><b>【斜面下からみた景観の美しさ】</b> ・斜面下方からの眺めが良い。</p>	<p><b>【ササユリの自生する斜面の保全】</b> ・ササユリの生育環境を保全するためには、どう整備するのか、又は、整備しないのか、検討が必要。</p> <p><b>【斜面の一般開放の難しさ】</b> ・ササユリの自生している斜面や、斜面上にある階段の一般開放による利用については、安全確保が課題である。盗掘の恐れもある。</p>	<p><b>【ササユリの生育環境の保全・向上】</b> ・ササユリを増やすための生育条件を改善等対策を図りたい。</p> <p><b>【期間限定利用】</b> ・一般利用者には、ホタルやササユリなどの魅力のあるシーズンの催し等限定利用とするのが良い。</p> <p><b>【ササユリの視点場の設置】</b> ・南側の竹林を伐採し、ササユリを眺められるようにしたい。</p>
散策ルート	<p><b>【谷口池西側堤の境】</b> ・池の堤上は風通しの良い場として、涼を感じることのできる場所となっている。 ・斜面下方からの眺めが良い。</p>	<p><b>【谷口池西側堤上の維持・管理】</b> ・谷口池の堤上については、通行が困難で雑草対策が必要。</p> <p><b>【ホタルの鑑賞ルート】</b> ・橋が水利組合の管理であるなど、課題が多い。 ・斜面側に柵がないため安全対策が必要。</p>	<p><b>【谷口池西側堤上の安全対策】</b> ・堤上の柵(斜面側)は池側と同じ擬木か、パーククラブによる竹製柵とすることが考えられる。 ・一般利用者に対しては催しとして鑑賞ルートを設定し、安全向上と活用を図りたい。 ・堤上を周遊ルートに位置づけ、踏圧による雑草抑制を行うことが考えられる。</p> <p><b>【草地斜面の裾野】</b> ・斜面下は、ササユリを眺められるルートを確保。</p>

基本的な課題・今後のあり方

- ホタルが生息できる水辺環境の保全**  
・天神川両岸付近は、竹林が侵入し広葉樹林の衰退が進んでいると考えられ、水生ホタルの生育環境の保全への対応が求められる。
- 水辺環境の保全と活用**  
・自然環境を損なわない利用を行うこととし、一般利用者に開放する範囲を制限する。
- ホタル観賞等・自然体験等の環境整備**  
・ホタルの生息環境への影響を最小限に抑えるため、一般利用範囲を制限するとともに鑑賞や保全活動の催しとして、一般利用者に楽しみや体験の機会を提供する。  
・ホタルを鑑賞できるルート、スポット等が必要である。  
・ホタルの生息環境保全に必要な最小限の整備を行う。  
・一般利用者の観賞・環境観察・保全体験の整備を行う。
- ヒメボタルが生息する竹林の保全と活用**  
・棚田跡の竹林は、ヒメボタルの生息環境と考えられるため、保全を前提に必要な最低限の改変とする。
- ホタル観賞等・自然体験等の環境整備**  
・ホタルの生息環境への影響を最小限に抑えるため、一般利用範囲を制限するとともに鑑賞や保全活動の催しとして、一般利用者に楽しみや体験の機会を提供する。  
・ホタルを鑑賞できるルート、スポット等が必要である。  
・ホタルの生息環境保全に必要な最小限の整備を行う。  
・一般利用者の観賞・環境観察・保全体験の整備を行う。
- ササユリ等が生息できる草地環境の保全と活用**  
・ササユリが生息する草地環境の維持・保全を図る。  
・鑑賞等のための環境改変は最小限にとどめ、一般開放は行なわず鑑賞のための催し等に制限する。  
・ササユリの生育環境の向上を図るための適切な刈込頻度や刈込高さ等の対応を検討をする。
- ササユリ等がある草地環境の整備**  
・ササユリ等を効果的に眺められる鑑賞ルートやポイントを絞り込む。
- 谷口池西側堤周辺の利活用**  
・堤周辺への一般利用者のアクセスを制限し、安全確保を図る。  
・ササユリ鑑賞等利活用については、催し利用等で対応を図る。  
・鑑賞ルートやスポット整備については最小限にとどめる。  
・安全性確保とササユリ保全のため、ササユリ斜面法肩に安全柵を設置する。

# 谷口池周辺の基本的な課題・今後のあり方

## 水生ホタルが生息する天神川周辺

ホタルが生息できる水辺環境の保全  
 ・天神川両岸付近は、竹林が侵入し広葉樹林の衰退が進んでいると考えられ、水生ホタルの生育環境の保全への対応が求められる。

水辺環境の保全と活用  
 ・自然環境を損なわない利用を行うこととし、一般利用者に開放する範囲を制限する。

プログラム・整備の考え方  
 <プログラム>  
 ・一般利用範囲を制限するとともに鑑賞や保全活動の催しとして、一般利用者を楽しみや体験の機会を提供する。  
 ・ホタルの生息環境を把握するための調査等が必要である。

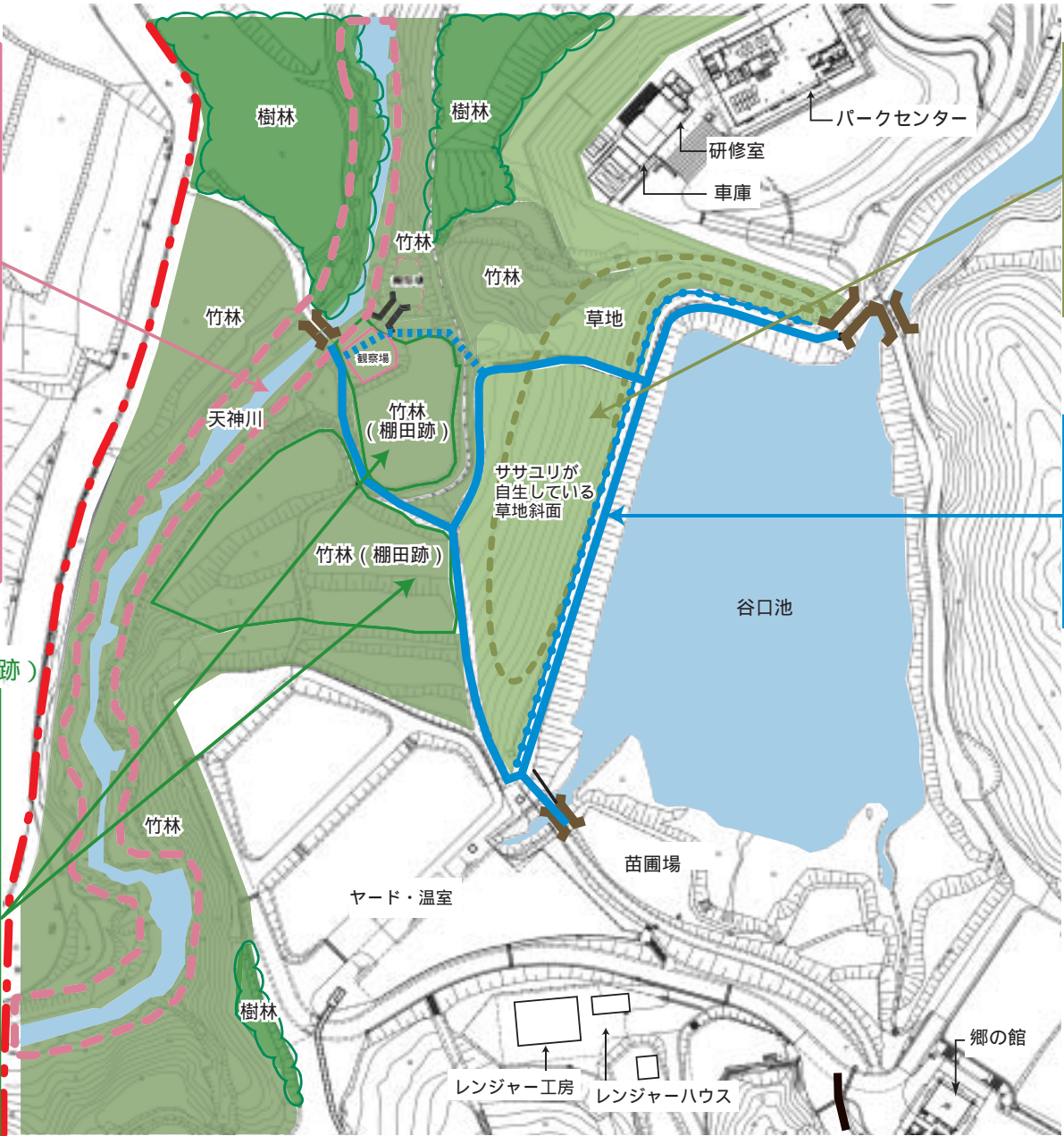
<整備>  
 ・ホタルを鑑賞できるルート、スポット等が必要である(例：観察場の整備等)。  
 ・ホタルの生息環境保全に必要な最小限の整備を行う。  
 ・一般利用者の観賞・環境観察・保全体験の整備を行う。

## 陸生ホタルが生息する竹林周辺(棚田跡)

ヒメボタルが生息する竹林の保全と活用  
 ・棚田跡の竹林は、ヒメボタルの生息環境と考えられるため、保全を前提に必要な最低限の改変とする。

プログラム・整備の考え方  
 <プログラム>  
 ・一般利用範囲を制限するとともに鑑賞や保全活動の催しとして、一般利用者を楽しみや体験の機会を提供する。  
 ・ホタルの生息環境を把握するための調査等が必要である。

<整備>  
 ・ホタルを鑑賞できる周遊ルートやスポット等が必要である。  
 ・ホタルの生息環境保全に必要な最小限の整備を行う。  
 ・一般利用者の観賞・環境観察・保全体験の整備を行う。



## ササユリが自生する草地斜面

ササユリ等が生育できる草地環境の保全と活用  
 ・ササユリが生育する草地環境の維持・保全を図る。  
 ・鑑賞等のための環境改変は最小限にとどめ、一般開放は鑑賞のための催し等ササユリが咲く6月頃に制限する。  
 ・ササユリの生育環境の向上を図るための適切な刈込頻度や刈込高さ等の対応を検討をする。

ササユリ等がある草地環境の整備  
 ・ササユリ等を効果的に眺められる鑑賞ルートやポイントを絞り込む。

## 散策ルート

谷口池西側堤周辺の利活用  
 ・堤周辺への一般利用者のアクセスを制限し、安全確保を図る。  
 ・ササユリ鑑賞等利活用については、催し利用等で対応を図る。  
 ・鑑賞ルートやスポット整備については最小限にとどめる。  
 ・安全性確保とササユリ保全のため、ササユリ斜面法肩に安全柵を設置する。

